



多層指導モデルMIM デジタル Ver.2

多層指導モデルMIM

読みのアセスメント・指導パッケージ



MIMデジタルの特長

- 視覚化や動作化、音声化などICTを活用したヒントが用意され、苦手な課題でも必要に応じて使うことができます。
- 指導者の個別対応への時間など、指導環境の確保が難しいときでも指導の提供ができます。
- アセスメント (MIM-よみめいじん) の実施から分析、トレーニング (MIM-トレーニング) まで、一貫してデジタル処理。児童ごとに最適なトレーニングを自動選択し、児童に提示します。



MIM-よみめいじん アセスメント

アセスメントのタブレット端末での実施を実現。自動採点ができるようになりました。「カルテ」機能で個人レポートもすくに表示・確認できます。

動作環境
多層モデル MIM デジタル版は、紙の教材である「パッケージ版」とのセットでご利用をいただいております。

- スタンドアロン版
 - ・ Windows 版
動作OS: Windows7/8.1/8.1Pro/10
ストレージ: 300MB 以上
【注意】「書くトレーニング」は、おもにタッチ操作を想定したインターフェイスです。タブレット端末での利用を推奨します。
 - ・ iPad 版
動作OS: iOS9.3以降、iOS10以降を推奨 (iPad 第4世代、iPad mini2以降)
ストレージ: 400MB 以上
- WEB 版
 - ・ Windows
Windows10 のパソコン
CPU Core i5 (第4世代以降) 以上推奨
メモリ 8GB 以上 / Chrome 最新版
 - ・ iOS
iOS10以降のiPad (第5世代以降推奨)
iPad mini2以降 (第4世代以降推奨)
iPad Pro (第2世代以降推奨)
Chrome・Safari 最新版
・ Chromebook
ChromeOS 最新版
- サーバー版 (自治体サーバーの場合)
※ローカルアプリケーション自体はスタンドアロン版と共通です。
・ プラットフォーム
Linux系サーバーまたは、Windows8/10
・ 推奨条件
Apache2.4 / php 5.4 以降 /
MySQL5.7.11 以降



*Microsoft, Window は、米国Microsoft Corporationの米国及び他の国における登録商標または商標です。
*iOSは、Apple Inc.のOS名称です。iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

【制作】
株式会社学研教育みらい
〒141-8416 東京都品川区西五反田2-11-8
Tel.(03)6431-1152 Fax.(03)6431-1782
https://gakkokyoiku.gakken.co.jp/



MIM-トレーニング トレーニング

アセスメントのテストに対応した二種類の「総合トレーニング」と、特殊音節理解のための「ことば絵カード」・「聴くトレーニング」・「書くトレーニング」・「促音トレーニング」・「さんかくシート」・「かたまり読み・語彙拡大のための「ことばさがし」・「はやくちことば」・「これ、知っている?」の十種類のトレーニングを用意。アセスメントの結果に応じて、これらの中から推奨するトレーニングを自動的に提示します。



多層指導モデルMIM

読みのアセスメント・指導パッケージ

つまずきのある読みを流暢な読みへ

海津亜希子 先生 編・著
(国立特別支援教育総合研究所 主任研究員)



セット内容

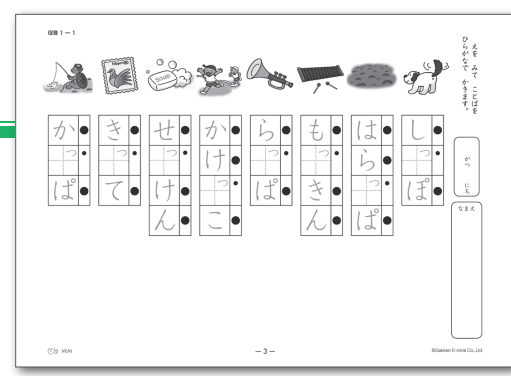
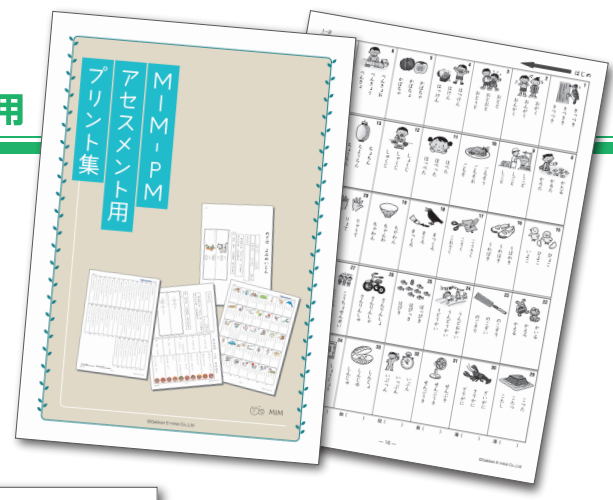
このパッケージには、正確で素速い語の読み能力を把握するアセスメントと、効果的な指導をすすめていくための指導法や教材が収められています。

- 商品コード: 31-00001-490
- 本体価格: 19,800円(税込み)
- 主な対象: 小学校1・2年生
- 判型: A4判・冊子3冊、A6判・カード154枚、CD-ROM1枚 (各種データを収録)

MIM-PM アセスメント用

プリント集

テスト①と②の2部構成。絵を見て3つの語から正しい表記を素速く選ぶ力と、語のまとまりを素速く見つける力をみるテスト(全11回分)。



ちょっとかわったよみかたの

かきとりしゅう

特殊音節のルールを理解しやすいよう、語の音の特徴から●や○などで視覚的に表し、正しい語の書く力をつけるための書きとり用プリント集。

ことば絵カード

MIM-PMアセスメント用プリント集と連動したカード。裏面には問題に出た語の意味や、その語が入った短文があります。



ガイドブック

多層指導モデルMIMや読みの指導法について解説した手引き。各教材の活用法、MIMの観点を取り入れたゲーム集などを収録。

データライブラリー (CD-ROM1枚)
各教材のPDFデータを収録。アセスメントの結果を簡単にグラフ化できるソフト、MIMを実践した小学校の事例集も収録。

収録コンテンツ



など

指導

本書では、アセスメントと指導とをリンクさせ、効果的な指導の提供をめざします。

アセスメント

(MIM-PM: めざせ よみめいじん)

子どもの伸びの捉え、
つまずきの早期把握、
早期支援、個に応じた指導

科学的根拠に基づいた指導法を用いることによる高い指導効果

アセスメントの結果を指導に活かす

指導の効果をアセスメント(MIM-PM: めざせ よみめいじん)で確かめる

語の読みの中でも、特につまずきが多いのが「特殊音節(※1)」(のびる音、つまる音、ねじれる音)。通常の学級に4.5%の割合(クラスに1~2人)で在籍するとされる、LD(学習障害)のような学習に困難のある子どもは、特殊音節の習得につまずきを示す場合が多いのです。

MIM(ミム)とは何か?

MIM(※2)とは、全体から個へ、すべての子どもたちに効果的指導を隅々まで届けようとする通常の学級における学力指導モデルです。一人一人を丁寧にみていくアセスメントを効果的指導へとつなげていくというねらいから、アセスメントと指導をひとまとまり(パッケージ)にしました(※3)。

MIM「読みのアセスメント・指導パッケージ」でめざすこと

子どもたちの読みの流暢性を育むことがねらいです。右図のように、文字や語を正確に、素速く読むこと(流暢性)が、ひいては、読解力へとつながっていくと考えます。



MIMにおける取り組み

3つの指導ステージから成っています。

1stステージ

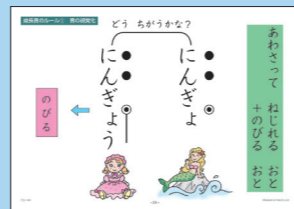
通常の学級での効果的な授業

全ての子ども

子どもたちにルールを明確に伝えるために



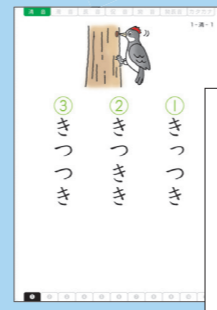
ガイドブック



ルール説明用カード

通常の学級での授業の中で活用できるように作られた教材です。

読みの流暢性を高めるために



ことば絵カード

ちょっとプリント



はやくちことばしゅう

「語を逐字でなく、かたまりとして捉えること」「日常的に用いる語彙の拡大と使用」をめざした豊富な教材が用意されています。

異なる子どものニーズに対応していくために



MIM実践事例集



読み書きに関するゲーム集

1stステージの指導方法を少しアレンジすることで、異なる子どものニーズに対応していきます。「実践事例集」や、ガイドブックにある「読み書きに関するゲーム集」にもヒントが満載です。

小集団や個別で、集中的な指導を行うために

1stステージ指導での基本原則を用いながら、小集団(または個別)で、集中的に指導していく際の方法や教材の活用例があります。具体的な指導法は「ガイドブック」「実践事例集」などに記載されています。

通級等、特化した場においても、MIMの指導法および教材は十分に活用できます。アセスメントの結果を個人レポートにすることで、子どもと一緒に伸びを実感することもできます。読みの苦手な中学年以降のお子さんに活用された事例も報告されています。

果たしてMIMの効果は?

- 特別な支援を必要としている子どもはもちろん、異なる学力層(特に学習が得意な子ども)においても、平常の授業をしていた群と比べて、有意な差(読みに関する検査得点の高さ)がみられました。
- MIMを実践した群と平常の授業実施群との間で差がみられた内容を見ると、特殊音節の読みに限らず、特殊音節の書き、読書力の総合的な力(読解等を含む)にまで及ぶことがわかりました。

MIMは、異なるニーズのある子どもに対して、
特殊音節を中心とした語の正確で素速い読み、
流暢性のある読みの実現を支えます。

子どもの伸びを具体的に把握するために



「正確な表記の語を素速く認識する力」「語のまとまりを素速く認識する力」をみる2種類のテスト構成(11回分用意)。

- 隔週または月に一度実施し、子どもの習得の進捗状況を確認することができます。
- 1回のテストにつき1分ずつ(計2分)で実施可能。通常の学級で、短時間で、一斉実施が可能です。

結果をMIM-PM活用ソフトに入力することで、
さまざまな情報を得ることができます。

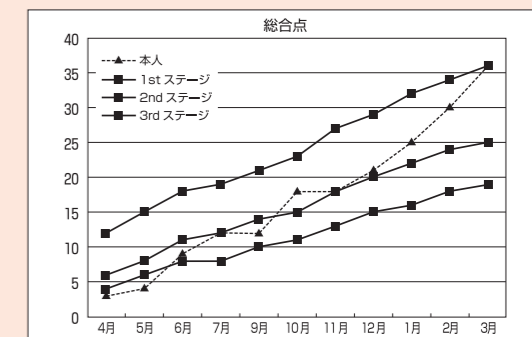
クラスレポート

クラスのアセスメントの結果が一目でわかります。各ステージ指導対象の子どもが異なるマーカーで示されるので、早期に子どものニーズに気づくことができます。

| 氏名 | テスト総合点 | テスト①正答数 | テスト②正答数 | 前回との比較 |
|------|--------|---------|---------|--------|
| はなこ | 40 | 17 | 23 | 1 |
| たろう | 35 | 16 | 19 | 8 |
| まさお | 32 | 14 | 18 | 0 |
| みきえ | 27 | 18 | 9 | 7 |
| だいすけ | 24 | 12 | 12 | -1 |
| あやこ | 18 | 12 | 6 | 6 |
| けんじ | 17 | 10 | 7 | 4 |
| みほ | 16 | 9 | 7 | 3 |
| なおこ | 14 | 8 | 6 | -1 |
| いちろう | 13 | 6 | 7 | -1 |
| やすお | 11 | 7 | 4 | -1 |
| ひであき | 9 | 5 | 4 | 1 |
| 平均 | 21.3 | 11.2 | 10.2 | 2.2 |

個人レポート

各子どもの伸びがわかります。どのように子どもが学習しているのか、指導の効果は出ているかをみることができます。



個別の配慮計画

蓄積されたテスト結果から、2学期になると自動的にクラスごとの「個別の配慮計画」が作成されます。

3rdステージ

補足的、集中的、柔軟な形態による特化した指導

1stステージ、2ndステージ指導では伸びが乏しい子ども

(※1)特殊音節は、他の仮名文字のように、文字と音とが一対一に対応しないため、頭の中の音の操作が困難な子どもにとって、習得が難しいと考えられます。

(※2)MIMとは、Multilayer Instruction Model(多層指導モデル)の略称です。

(※3)MIMの中に登場するアセスメントや指導法は、研究(文部科学省科学研究費補助金等)を通して、これまで8000を超える現場の先生や子どもたちの協力により科学的な根拠を得ながら完成しました。